

分科会：日本の社会課題解決に挑む革新的ビジネス

2/10 12:40-14:10

1. 高齢化社会とヘルスケア

登壇者：株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ 代表取締役 青木武士氏

株式会社キャンサースキャン 代表取締役 福吉潤氏

株式会社ケアプロ 代表取締役社長 川添高志氏

株式会社ポラリス 代表取締役 森剛士氏

モデレーター：一般財団法人 KIBOW インパクト・インベストメント・チーム

ディレクター 山中礼二氏



※左から川添高志氏、福吉潤氏、森剛士氏、青木武士氏、山中礼二氏

2月20日(火)12:40より、分科会「日本の社会課題解決に挑む革新的ビジネス」高齢化社会とヘルスケアが開催された。モデレーターは、一般財団法人 KIBOW インパクト・インベストメント・チーム ディレクター 山中礼二氏。パネリストは、株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ 代表取締役 青木武士氏、株式会社キャンサースキャン 代表取締役 福吉潤氏、株式会社ケアプロ 代表取締役社長 川添高志氏、株式会社ポラリス 代表取締役 森剛士氏の四名が務めた。

まず、モデレーターの山中さんより、ヘルスケア・ベンチャーの資金調達環境について触

れられ、インパクト投資の投資先課題分野として、ヘルスケアが最も多いことが説明された。

その後、各パネリストより事業の紹介があった。株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズの青木さんは、パネリストの中で唯一の資金提供者としての参加で、病院が成長するためのサービス支援に重きを置く、ヘルスケアに特化したベンチャーだ。人の生き死が関わっているため、トライアルフィールドがないという病院の課題に対するサポートや、神奈川県とのファンド組成などを行っている。

株式会社ポラリスの森さんからは、これまで介護保険卒業 204 名、社会保障費削減 12.9 億円の成果が出している自立支援介護サービスについて説明があった。もともと心臓外科医であった森さんは、祖母の脳梗塞がきっかけで慢性期のリハビリ施設に移動し、現在の自立支援介護サービスを展開するに至っている。

株式会社キャンサースキャンの福吉さんは、がんによる死亡者削減を目指し、マーケティングの観点から全国の自治体に対して、がん検査の受診率増加のための支援を行っている。がんの早期発見により、医療費の抑制効果があることが分かっているからだ。また、SIB を活用した、がん検診受診率向上事業も進めている。

最後に、株式会社ケアプロの川添さんより、ワンコイン検診や訪問看護の事業について説明があった。これまでビジネスとして成り立っていなかった領域で、先進的な事業を進めてきた株式会社ケアプロは現在、大学や業界団体と協力しながら、新卒訪問看護師の採用や教育などを実施している。

また、これまでの資金調達について、各事業者から紹介があった。ポラリスは、最初 3,000 万円の融資から始まり、地域貢献をしたい地主さんとの協力を得ながら新しいデイサービスを建てて事業を進めている。また 2017 年 1 月に、社会的インパクト投資ファンドの KIBOW が出資している。キャンサースキャンは、自己資本をメインに、行政の事業が年度末のみの支払いのため短期の銀行融資を受けて、キャッシュフローを回している。ケアプロは、出資や社債、寄付、融資など多様な資金調達を実施している。その他、会場やモデレーター、そしてパネリスト間での QA の時間が持たれ、各事業者の必要としている支援や、イノベーションが起きるべきヘルスケアの領域などについて、取り上げられた。

以上